

2023年10月18日
住商メタルワン鋼管株式会社

「SDGs AICHI EXPO 2023」への出展について

住商メタルワン鋼管株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：桐畑竜典、以下、「住商メタルワン鋼管」）は、去る2023年10月5日（木）から10月7日（土）までの3日間、Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）にて開催されたSDGs推進イベント「SDGs AICHI EXPO 2023」（<https://sdgs-aichi.com/>）に、オフィシャルパートナーである住友商事グループの1社として出展しました。

当イベントは、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、生物多様性、多文化共生や地方創生など、持続可能な社会を実現するための様々な課題に対し、企業や自治体、NPO、高校・大学など多主体、多世代のコミュニケーションやネットワーキングを促進することで、課題解決に向けた力を生み出すことを目的として開催されたものです。約120団体によるブース出展の他、SDGsを楽しみながら学べるステージイベントやワークショップなど多数の企画が催されました。

住商メタルワン鋼管は、「鋼管の販売を通じた環境保全への貢献」をテーマに、4つのビジネス事例についてパネル展示でご紹介しました。住商メタルワン鋼管は、引き続き事業活動を通じて、SDGsや持続可能な社会に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

広報・サステナビリティ推進チーム

Email：info.koho@mosctp.co.jp

“鋼管の販売を通じた” 環境保全への貢献

鉄はリサイクル性に優れ、再利用が容易な素材です。
私たちは、そんな鉄鋼製品を広汎な顧客ネットワークを通じて様々な業界に対して提案し、
地球環境に優しい製品の普及・拡販に力を入れています。



土壌に優しい基礎工事 鋼管杭

コンクリート杭と比較して工事の際の排出残土が少なく、地下水への影響が軽微なため汚染の抑制効果も期待できる、土壌に優しい製品です。さらに工事の際の振動・騒音が少なく、周辺住民の生活環境にも配慮できます。

環境と安全を考慮して スリットダム

生態系への影響を最小限にとどめつつ、土石流・洪水の発生を抑制します。土石流発生時には砂防ダムと同じ役割を果たします。また、コンクリート堰堤と比較して製造時のCO₂排出量が低減できます。



海の環境を守るために 港湾ジャケット式棧橋

鋼管が持つ軽重で耐久性に優れた特性を活かし、海洋構造物の基礎に活用しています。海洋生態系保護の観点から、十分な通水性を確保しています。

クリーンな街を目指して 水素ステーション用 ステンレス鋼

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、高圧水素用ステンレス鋼材の販売を通じ、水素を安全に供給するインフラ整備に貢献しています。



住商メタルワン鋼管は住友商事グループの一員として、
鉄鋼製品の販売を通じ、引き続き環境保全への取り組みを推進していきます。

 住商メタルワン鋼管

【出展風景】

